

身近な公共施設の再編に向けて

アンケート調査を実施

なぜ再編が必要なの？ 再編のイメージは？

再編の進め方は？

公共施設の再編とは

安全でニーズに合った施設を提供できるよう、現行の施設機能の集約化や複合化などを進めることによって公共施設の延べ床面積をできるだけ削減して健全な財政運営を図るための取り組みです。

☎企画課企画調整担当 ☎042-497-1802

なぜ公共施設の再編が必要なの？

1 公共施設の老朽化

7割強の施設が築後30年以上となっています。

雨漏り
バリアフリー未対応
市民センター
築40年

2 建替えや大規模改修にかかる財源の不足

すべての施設を、建替えや大規模改修をして今の数を維持した場合、今後30年間で387.7億円(12.9億円/年)の財源不足が見込まれます。

今後30年間の更新等経費

786.7億円

(26.2億円/年)

充当可能財源

399億円

(13.3億円/年)

※充当可能財源は過去の実績値より試算。

不足財源

387.7億円

(12.9億円/年)

3 市民サービスに関わる課題

求められる機能に対応できていない施設が存在しています。

椅子がない部屋だと使いにくくて・・・

身近な公共施設（地域レベル）の再編のイメージは？

地域市民センターや集会所、図書館、児童館、老人いこいの家などの**身近な公共施設（地域レベル）**を**小学校と同一敷地内に複合化**すること（仮称）地域の拠点施設化）を基本的な考えとしていきます。これにより、**多世代の交流促進**や、**地域により身近な小学校の実現**、といった状況を生み出すことが期待できます。

例えば・・・

+

=

コミュニティ施設

- 貸館、学童クラブ、児童館、図書館などの複合施設
- 校舎とは導線を分けつつ渡り廊下などで往来は可能な状態

小学校校舎

- 通常の校舎を想定
- 図書室などコミュニティ施設と併用できる場合は共同利用も想定される

グラウンド・体育館など

- 学校と地域がすみ分けしながら共同利用することを想定

※上記の図はあくまでイメージの一例であり、決定したものではありません。

公共施設の再編の進め方は？

上記のような身近な公共施設の再編を進めるには、**市民の皆さんや利用者の皆さんのご意見などを十分にお聞きすることが必要**だと考えています。そこで今回、**身近な公共施設の利用状況や再編の進め方などについて**2種類のアンケートを実施しました。アンケート結果の概要は次のとおりです。

アンケートの概要

	身近な公共施設の再編に関する市民ニーズ調査 (以下「市民アンケート」という)	清瀬市 地域レベルの公共施設に関する利用者アンケート (以下「利用者アンケート」という)
対象者	市内在住の18歳以上の方	市内の公共施設の利用者
対象者数	2,000人	制限なし
回収数・率	829人(41.5%)	1,829件
抽出方法	無作為抽出	抽出せず
調査方法	配付は郵送方式。回答収集は、郵送または電子申請方式	公共施設にて、利用者に配布し、回収ボックスにて回収
調査期間	令和元年9月13日～10月7日	令和元年8月10日ごろ～9月30日※

※一部施設で期間を追加してアンケートを実施。

凡例

市 市民アンケート

利 利用者アンケート

※端数処理をしているため、合計が100%になりません。

●どのような方法で再編案を検討したほうがいいと思いますか？

住民意見を取り入れて市が作成した案を、地域ごとの意見交換会で住民に意見を募る方法

住民意見を取り入れて市が作成した案を、有識者や公募委員等の検討委員会で検討する方法

市が作成した案を、広報やホームページで公表し、意見を募り案に反映する方法

34.4%

28.3%

29.3%

市

◆その他の回答
その他：4.3%、
無回答・エラー：3.6%

専門家などによる委員会や広報・ホームページでの意見募集よりも、住民説明会を開催する手法を希望する市民が比較的多い結果となりました。